総合評価報告書（総合評価）

総合評価　　**会社名：**　サンプル②株式会社　　**業種：** 製造

総　括

全体的に見て「良好な水準」となっています。
部門別に見ると、「ヒト部門」が標準的な水準、「モノ・技術部門」、「カネ部門」においては、「良好な水準」となっています。
また、部門別の戦略項目をみると、「モノ・技術部門」の①商品・サービスの企画開発、②マーケティング・営業力、③ITの3分野で
「カネ部門」の①安全性、②資金管理の2分野で、「極めて良好な水準」となっています。その反面、「ヒト部門」の人材育成活用、
「カネ部門」の①生産性、②効率性の2分野で、「やや低い水準」となっています。

現状について

当社は、XXXの製造を専門とする製造業であり、モノ・技術部門における総合評点が高いことは、競争優位に立って
いると思われます。また、無借金経営であり、カネ部門における安全性、資金管理の両面についても申し分のない水準となっていること
に加え、経営者による人的ネットワークを活かした営業展開とニッチ分野を対象とした製品競争力から収益性、成長性も標準以上の水
準となっています。
ただ、「ヒト部門」における人材育成活用の評価レベルが低く、このことが「カネ部門」の生産性の低下に繋がっているのではないかと
推測されます。
また、棚卸資産の回転期間が業界平均より長く、受注生産が基本であることを踏まえると在庫管理の徹底が求められます。

提案について

当社は、技術、製造部門を中心に経営活動を展開してきたと思われますが、今後は人材（従業員）の育成と組織体制の充実化を目指した
経営を図っていく必要があると思われます。
人材育成と人事の雇用管理など人事面の抜本的な改革が必要だと思われることから、以下の3つの提案をいたします。
・従業員教育の改良（OJTを中心とした教育の見直し）
・超過勤務体制の明確化とワークライフバランスの拡充
・従業員の動機づけに繋がるような人事考課制度の確立

部門別評価結果

「ヒト部門」　　全業種共通

【戦略項目】	【評価指標数】	【平均値】	【レベル】	【コメント】
経営者	7	4.0	Ⅳ	良好な水準です
企業経営	7	3.6	Ⅳ	良好な水準です
管理体制	6	3.3	Ⅲ	標準的な水準です
人事雇用管理	5	3.0	Ⅲ	標準的な水準です
人材育成活用	5	2.4	Ⅱ	やや低い水準です
【ヒト部門総合】	30	3.3	Ⅲ	標準的な水準です

※平均値、レベル、コメントは自動的に表示されます　（Ⅰ:1.0～1.9、Ⅱ:2.0～2.7、Ⅲ:2.8～3.3、Ⅳ:3.4～4.0、Ⅴ:4.1～5.0）

「モノ・技術部門」　　製造業

【戦略項目】	【評価指標数】	【平均値】	【レベル】	【コメント】
商品・サービスの企画開発	10	4.2	Ⅴ	極めて良好な水準です
立地・店舗・設備	0	4.0	Ⅳ	良好な水準です
マーケティング・営業力	7	4.3	Ⅴ	極めて良好な水準です
物流・在庫	6	3.8	Ⅳ	良好な水準です
ものづくり	10	3.7	Ⅳ	良好な水準です
顧客・アフターサービス	7	3.5	Ⅳ	良好な水準です
IT	5	4.3	Ⅴ	極めて良好な水準です
【モノ部門総合】	45	4.0	Ⅳ	良好な水準です

※平均値、レベル、コメントは自動的に表示されます　（Ⅰ:1.0～1.9、Ⅱ:2.0～2.7、Ⅲ:2.8～3.3、Ⅳ:3.4～4.0、Ⅴ:4.1～5.0）

「カネ部門」　　全業種共通

【実数分析】		「カネ」部門評価報告に記載			
	戦略項目	【評価指標数】	【レベル評点】	【分析評価】	【コメント】
【定量分析】	収益性	4	3	4	標準的な水準です
	安全性	5	5		極めて良好な水準です
	生産性	3	2		やや低い水準です
	効率性	3	2		やや低い水準です
	成長性	3	4		良好な水準です
	資金管理	4	5		極めて良好な水準です
	【合　計】	22			良好な水準です
【定性分析】	健全度　（問題あり・やや問題あり・普通・良好・優良）				良好です
	体力度　（不十分・やや不十分・普通・やや十分・十分）				やや十分です
【カネ部門総合】				Ⅳ	良好な水準です

※定量分析戦略項目のレベル評点、コメントおよび定性分析のコメントは、自動的に表示されます。